

すずか倶楽部 南条 雄士 議員



- 1 確かな学力を身に付けさせよう
(1)ご当地教材を作成してみても
(2)放課後・土曜の無料補習を
検討してみても

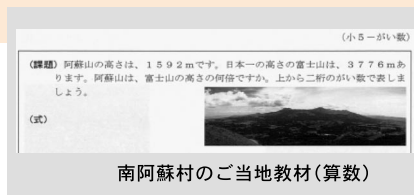
質問1(1) 「理数大好きモデル地域」の南阿蘇村は算数・数学のご当地教材、「小中一貫英語特区」の金沢市は英語のご当地教材を使用している。地域を題材とした教材を使用することで、子供達の学習意欲が向上して確かな学力が身に付き、更には郷土愛を育むことも出来る。鈴鹿市もご当地教材を作成・使用すべきであると思うがどうか。

答弁1(1) 十分参考にして、今後の取り組みに活か

したい。教育研究所で行っている調査研究事業の検討事項に取り上げたい。

質問1(2) 東京都大田区では、全小中学校に学習指導講師を配置し、放課後や土曜日を使って週4～12時間の無料補習を実施している。学力底上げのため、学習指導講師を採用し、子供達一人一人に合わせた教材を使った補習教室を全市的に取り組むべきと思うがどうか。

答弁1(2) 参考にして検討するが、まずは学習支援ボランティアの充実により学力の底上げに努める。



市政研究会 中村 浩 議員



- 1 Cバスについてのパート12

質問1 地域公共交通総合連携計画の策定主旨は、依然として廃止バス路線の代替的な交通網整備の考え方であり地域限定的な考え方である。これまでの市長の発言とは食い違うのではないか。考古博物館への公共交通機関によるアクセス整備は考えていないのか。広報で公共施設の利用PRが数多くされているが、交通手段の改善が計画に明記されていないのはなぜか。鈴鹿中央総合病院、鈴鹿回生病院への交通手段の整備が計画にないのはなぜか。いつ、どのように見直すのか。

答弁1 Cバスは、地域に支援された運行方法を目指

し、市民や地域から一定の評価を得ているが、Cバスの運行・展開のみで市内の公共交通サービスを充足には限界があり、公共交通機関相互の連携という課題に取り組む必要性を計画に記述している。全市的な公共施設への容易な交通アクセスは望ましいが、直ちに行うのは難しい。まずは、公共交通機関が生活交通としての機能を発揮することが必要であり、そのための対策を優先させたい。通院者の交通手段を確保することの重要性は十分認識しているので、病院、交通事業者、住民との連携を図りながら、通院に関する移動手段のあり方を検討したい。



政友会 佐久間 浩治議員



- 1 市内の公園について

質問1 公園の整備の現状と計画は、また今年度の神戸公園の整備内容は、神戸中学校跡地を公園として整備はどうか。公園内での犬の散歩の考え方と現状、対策は。公園の植栽・遊具等、管理の現状は、また神戸公園・四季の道等、藤棚の整備拡張は。神戸公園の五葉松の里親の考えや、花しょうぶの管理は。遊具管理についてはどうか。

答弁1 市内には315カ所の都市公園があり、市民一人あたりの面積は約9.1㎡である。子供からお年寄りまで、安心して遊べ、親しまれる公園づくりに努めたい。神戸

公園は、神戸城跡の土塁の整備、樹木の伐採・剪定や井戸の掘り替え工事、健康遊具の設置を予定。神戸中学校跡地は全市的な合意形成の中で進めたい。公園での犬の散歩は管理上問題で、対応には苦慮しており、マナー向上の啓発を促す看板の設置や、モラルに反する飼い主には注意を促すなどの処置を行う。街区公園は地元自治会、それ以外はシルバー人材センターや造園業者に委託している。神戸公園の藤棚は、園内利用状況及び景観等を勘案の上検討する。四季の道の増設は難しい。既設の藤棚は既製品を利用しており改修は考えていない。五葉松の植木管理里親制度は引き続き検討したい。花しょうぶは造園業者に、遊具は専門業者に管理や点検を委託し、修繕や改修を順次行っている。